



# 協同組合論

— ひと・絆・社会連帯を求めて —

京都府協同組合連絡協議会と大学生協京滋・奈良ブロックは、同志社大学商学部のご協力をえて寄付講座「協同組合論」を開講することになりました。

この講座は、大学コンソーシアム京都加盟大学・短期大学の学生を対象にした単位互換科目です。協同組合について学びたいという一般の方は、京（みやこ）カレッジを通じて受講することができます。

## 開催日時

8月26日(火)～8月30日(土)

第2講時：10:50-12:20 第3講時：12:50-14:20 第4講時：14:30-16:00

## 会場

キャンパスプラザ京都/5階第1講義室

## 単位互換制度を利用される方へ

単位互換制度とは、加盟大学・短期大学の学生であれば「他大学が提供する正規科目を受講することができ、それが自大学で単位認定される制度」です。なお、単位認定のルールは大学・短期大学によって異なります。

詳細は「単位互換履修生募集ガイド」をご覧ください

なおお願受付は3月下旬から4月上旬までです（詳しい日時は所属大学により異なります）。

出願票は所属大学の担当窓口へ提出してください。

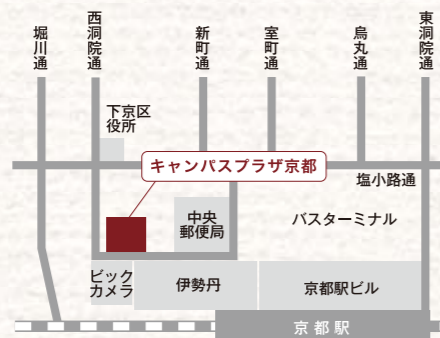
## 京（みやこ）カレッジを利用される方へ

京（みやこ）カレッジ募集ガイドにつきましては、下記宛へお問い合わせください。

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 教育事業部 京カレッジ係

tel 075-353-9140（火曜日～日曜日 9時～17時 月曜日休館）

[ E-mail ] mc-guide@consortium.or.jp



### □ その他お問い合わせ

UNIV. CO-OP 全国大学生協同組合連合会

けいじ なら  
京滋・奈良ブロック 事務局  
〒606-8106 京都市左京区高野玉岡町23-3  
Tel 075-712-1156

[ E-mail ] knb@ma2.seikyoku.ne.jp  
[ URL ] http://ksnet.u-coop.net/

### □ 会場

京都市下京区西洞院通塩小路下  
キャンパスプラザ京都

# 協同組合論

— ひと・絆・社会連帯を求めて —



### 受講生へのメッセージ

協同組合は事業体という点では営利企業と同じ性格をもちますが、その目的が組合員の相互扶助である点、また組合員が共同で所有し、経営に参加する点に独自性があります。この科目を通じて協同組合について学ぶことは、逆に営利企業の経営の特徴を深く理解することにつながります。多様な領域の協同組合の実像を知ることができるのもこの科目の魅力です。商学・経営学・経済学などを専攻する学生諸君が積極的に受講されることを期待します。

科目担当者：麻生 潤（あそう じゅん）同志社大学商学部准教授



### 国際協同組合年の機会に

— 昨年は国際協同組合年でした。ICAは2020年までの10年間を協同組合発展のための期間と決めました。3年連続でキャンパスプラザ京都を会場として「協同組合論」の講義を設けます。「一人は万人のために、万人は一人のために」というスローガンを掲げてきた協同組合の過去・現在・未来とともに学習しましょう。

科目担当者：名和 又介（なわ またすけ）同志社大学名誉教授

### 全15回 開催日時（5日間／1日3講時）

8月26日(火)～8月30日(土)  
at キャンパスプラザ京都

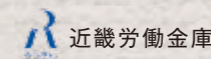
- 定員140名(内京カレッジ生20名程度)  
※希望者多数の場合、抽選になります。
- 授業時間帯は2講時(10:50～12:20)、3講時(12:50～14:20)、4講時(14:30～16:00)
- 講義には毎回レポートの提出を求めます。

### 寄付

UNIV. CO-OP 全国大学生協同組合連合会

### 企画協力団体

京都府協同組合連絡協議会  
(JA京都中央会・JF京都府漁協・京都府森連・京都府生協連)



### テーマと概要

2012年は「国際協同組合年」でした。一昨年設けられた協同組合論は、協同組合の過去・現在・未来について専門家を中心に講義をしました。昨年以降大きな変化はありませんが、より京都に関係深い内容になっています。協同組合間協力を生かして、京都府協同組合連絡協議会と大学生協の寄付講座となりました。

具体的には、現在ある協同組合の紹介をした後で、西洋中世の大学における協同組合的側面を、さらに産業革命以降の社会改革やロッチデール公正先駆者組合の成り立ちを学び、協同組合の歴史を学習します。そのうえで、現在活躍している協同組合—地域生協・農協・漁協・森林組合・信用金庫・労働金庫・医療生協・大学生協などの役割や課題などを学習します。最後に、共生・共助をモットーとする協同組合の将来のあり方や可能性などを検証します。



第1回～第3回  
8月26日(火)

第1回 10:50-12:20

協同組合とは何か

第一講は、今活動している協同組合の紹介をします。協同組合の歴史や中身はこれからの授業で学習していただきます。日本や世界にある協同組合を知っていただき、受講の基礎知識になれば幸いです。身近な協同組合、環境をまもる協同組合、コミュニティをつくる協同組合など、これからのみなさんの生き方にかかわる学習です。



【大学生協京滋・奈良ブロック会長 同志社大学名誉教授】  
名和 又介

第2回 12:50-14:20

協同組合の歴史

近代協同組合の姿は19世紀半ばのイギリスにおけるロッチデール公正先駆者組合にみられる。当時の社会の状況の中で協同組合思想家たちの描いた理想はどのように実践されてきたのか。またそれが世界や日本にどのように広がってきたのかを俯瞰し、協同組合のかかげる原則や価値を理解する。



【関西大学教授】  
杉本 貴志

第3回 14:30-16:00

賀川豊彦と協同組合

賀川豊彦たちの協同組合運動を、救貧や貧困との戦いとして仮に「ver.01」とするならば、戦後から現在までは、市場との争い、「協同組合運動 ver.02」なのであろう。これからの「協同組合運動 ver.03」の目的が、国連のミレニアム開発目標にあるような貧困、また、東日本大震災によってもたらされた大きな痛み、加えて、日本社会の中であって、見えにくくなってしまった貧困にあるのであれば、あらためて「ver.01」検証の意義があるのではないだろうか。



【賀川記念館館長】  
賀川 督明

第4回～第6回  
8月27日(水)

第4回 10:50-12:20

協同金融の社会的な役割と課題

投機マネー主導型経済が、今、深刻な危機を世界にもたらしています。分野とセクターを超えて世界に広がる非営利・協同セクターが「支えあう経済」の担い手として連携し、痛んだ地域とコミュニティの再生をめざしていくことが求められています。協同の理念から立ち上がったろうきんは、意思ある資金を地域につなぐ社会的金融をめざして取り組みを進めています。本講義では、これら協同金融の役割と課題、そして、社会づくりの道具立てとしての可能性を探ることとします。



【近畿労働金庫地域共生推進部 次長】  
中須 雅治

第5回 12:50-14:20

女性の生き方と生協

～私の「個人史」・京都の生協とのかかわり～

私が生協とかかわるようになったキッカケ……京都生活協同組合理事長・京都府生活協同組合連合会会長理事の任について……など、「個人史」をつづじて、京都の生協の過去・現在・未来についてお話をできたらと考えています。若い女性職員をゲストに招いて、「なぜ就職先に生協を選んだのか」についてのショート・スピーチも予定しています。



【京都府生活協同組合連合会 顧問】  
小林 智子

第6回 14:30-16:00

大学生活と大学生協

学生生活になくはない大学生協がどのような役割を担い、運営されているのかを紹介します。そして、生協運営を担う学生達が様々な人との関わりや実践の中で学び、成長する姿を紹介します。また、3・11の被害や被災者に対し学生たちがどのようにとりにくんできたのかも紹介しながら大学生協の姿を伝え、学びあいましょ。



【全国大学生協連 学生委員長】  
吉岡 充代子

第7回～第9回  
8月28日(木)

第7回 10:50-12:20

JA(農協)の存在意義について

JA(農協)が設立されて以降の存在価値を検証し、日本経済や地域社会の発展にはたしてきた役割を再確認するとともに、今後の目指すべきJAの姿について、お話をしたいと思います。



【京都府農業協同組合中央会 専務理事】  
牧 克昌

第8回 12:50-14:20

漁業とはどんな産業か

～協同組合の役割～

学生のみなさんは、魚の名前をどのくらいご存知でしょうか。そして漁業にたずさわっている人びとがどのような仕事をしているか、イメージが浮かぶでしょうか。漁業協同組合はどのような役割をはたしているか一京都の魚と漁業を通じてお話しします。



【京都府漁業協同組合 代表理事専務】  
倉 勉

第9回 14:30-16:00

森林と人との共生

私たちの生活にもっとも身近な、きれいな水や空気。当たり前のように存在していますが、実は、ふだん目にしている森林によって生まれているのご存じですか。そして、この森林から生産される木材を使うことで、日本の文化はつちかわれてきました。そんな森林を守り育ててきた協同組織、森林組合。森林とともに歩んできた森林組合の歴史と森林の大切さを紹介します。



【京都府森林組合連合会 代表理事専務】  
青合 幹夫

第10回～第12回  
8月29日(金)

第10回 10:50-12:20

中世の大学と協同

大学というものが中世の西欧で「協同組合」として始まったことをご存知でしょうか。University や College の語源であるラテン語は、学びのために学生や教師たちによって自発的に組織された組合だったのです。中世の大学がどのようなあり方をしてきたのかを紹介し、現在EU諸国で進められている大学間の協同であるポローニャプロセスにも触れます。そして、協同組合であった大学のなかにいま存在している大学生協のあるべき姿を考えてみます。



【京都大学生協理事長 京都大学教授】  
川添 信介

第11回 12:50-14:20

コミュニティ・バンクのめざす経営姿勢

成熟社会を迎える日本において、地域における人々の繋がりが少しずつ希薄になる中、「金融サービスを通じて地域社会に新たな社会的紐帯、人々の絆を育む」という、コミュニティ・バンクの社会的使命は益々重要となっています。昭和46年のコミュニティ・バンク宣言以来、「豊かなコミュニティ」実現を経営の柱としている当金庫のとりくみ紹介を通じて、協同組織金融機関の役割と課題、今後の方向性をお話したいと思います。



【京都信用金庫 理事 滋賀本部長】  
小倉 純

第12回 14:30-16:00

「まちづくり」として展開する地域包括ケア事業

「人」を中心すると、こんなことまでできる！人と人を結びつけ、ささえあいやすけあいのできる関係づくりを、医療・介護・福祉・健康づくりの事業と融合させつつある南医療生協。映像作家が「奇跡」とまで呼んだ事業の一端をご紹介します。協同組合のあり方を考えます。



【南医療生活協同組合 総務部】  
神山 充

第13回～第15回  
8月30日(土)

第13回 10:50-12:20

酪農家の協同組合

鳥取県の酪農家は二つの協同組合、「大山乳業農業協同組合」と「鳥取県畜産農業協同組合」に加入しています。搾った乳は大山乳業農協の工場で「せいきょう牛乳」になります。お乳の出が悪くなった乳牛やオスの子牛は鳥取県畜産農協でお肉にします。その牛のエサはほとんどが輸入です。飼料イネの作付など地域循環・飼料自給のとりくみを紹介し、さらにはTPPの問題など日本の将来についても考えます。



【鳥取県畜産農業協同組合 代表理事組合長】  
鎌谷 一也

第14回 12:50-14:20

地域に役立つ仕事おこしの協同組合～ワーカーズコープの紹介～

ヨーロッパや南北アメリカでは普通に見られるワーカーズコープ。日本では小さな協同組合であるが、いま学童保育や地域若者サポートステーション、生活保護受給者の自立・就労支援、障がい児放課後デイサービス等で量的に全国トップクラスの事業を進めている。NPOと同じ社会目的を持ち、地域に役立つ仕事おこしを進めるワーカーズコープを紹介する。



【(社)協同総合研究所理事長】  
岡安 喜三郎

第15回 14:30-16:00

協同組合論を締めくくる

協同組合論の講義を通じて受講生諸君にどのような学びや発見があったのかをグループに分かれて話し合う。グループの中での話し合った内容の発表を通じて、本講座のまとめを行ないます。



【同志社大学商学部准教授】  
麻生 潤



【大学生協京滋・奈良ブロック会長 同志社大学名誉教授】  
名和 又介